

森林環境保全学特論実験（2単位）

担当者氏名 中村幸人・矢口行雄・武生雅明・福永健司・橘隆一

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

指導教員による指導内容および指導に要した時間数の記録を行い、森林環境保全学の実験の習熟の程度を重視した教育を行なう。教育目標は森林環境保全学の座学をもとに実験による知識と技術力を高めることである。実験のためのフィールドは関東一円が対象となり、奥多摩演習林、秩父分集林、富士農場も含まれる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

森林型	生態系	生物多様性	持続的利用
治山砂防	緑化	モニタリング	土砂移動

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	森林環境保全学特論実験では、野外や演習林における現地調査を通して、森林型と成立要因の対応を理解する。さらに攪乱など、森林が崩壊したあとの動態については方形区調査などを行い、遷移、物質生産、生物多様性の変化などを比較する。また、無植生地や崩壊地において地質、表層地質、地すべり現象などを調査し、人工地盤による整備、緑化による生態系の回復のための技術やモニタリング手法を実施する。さらに植栽や播種による成長実験、人工地盤の造成実験なども行なう。	野外の方形区調査、実験棟における植栽・播種実験等により、森林環境保全学を習熟する。野外の実習と実験が多く、事前にフィールドを良く理解しておくことが大事である。また、事後においては得られた資料を速やかに解析してレポートとして提出することが望まれる。
2	方形区調査/植栽・播種実験(1)		
3	方形区調査/植栽・播種実験(2)		
4	方形区調査/植栽・播種実験(3)		
5	方形区調査/植栽・播種実験(4)		
6	方形区調査/植栽・播種実験(5)		
7	方形区調査/植栽・播種実験(6)		
8	方形区調査/植栽・播種実験(7)		
9	方形区調査/植栽・播種実験(8)		
10	方形区調査/植栽・播種実験(9)		
11	方形区調査/植栽・播種実験(10)		
12	方形区調査/植栽・播種実験(11)		
13	方形区調査/植栽・播種実験(12)		
14	方形区調査/植栽・播種実験(13)		
15	予備日		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

植生景観とその管理/中村幸人他/東京農業大学出版会(2014)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

森林の生態学/種生物学会/文一総合出版(2006)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

野外での理解度をその都度チェックし、レポートの提出で評価する。

◆オフィスアワー

火曜日の午後に研究室で対応する。

◆その他受講上の注意事項

宿泊を伴う実習となるために、その準備を行うこと。
